◆廃校を活用したローカルイノベーション拠点施設整備事業～新産業創出プロジェクト～

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	（1年目）30年度	（2年目）R1年度	（3年目）R2年度	（4年目）R3年度	（5年目）R4年度	KPI増加分の累計
地方創生拠点整備交付金	2	交流・関係・定住人口の拡大	特色を活かした移住・定住の促進	地域政策課	H30．8．31 から R5．3．31	施設が関与した実験的取組のうち事業化されたサービス・商品の利用者数	人	水準型	目標	0	0	0	200	400	600	1,200
									実績				99	199	26	
						サテライトオフィス誘致企業雇用者数	人	水準型	目標	0	0	0	20	40	60	120
									実績				8	7	0	
						地元温泉街（古湯）宿泊数	泊	水準型	目標	60,000	0	0	5,000	5,000	5,000	15,000
									実績				△ 3,723	1,236	11,260	

R4年度実施・R5年度評価	
進捗状況	総括
△	移動抑制など、新型コロナウイルス感染症対策の影響を大きく受けた結果となっている。新たな利用者の開拓のため、県内外に施設のPRを実施していきたい。また、施設の新たな利活用についても検討し、併せてPRしていきたい。

◆中心市街地における人の流れを生み出す効果的な導線（連続性）づくり事業

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	（1年目）R2年度	（2年目）R3年度	（3年目）R4年度	（4年目）R5年度	（5年目）R6年度	KPI増加分の累計
デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	2	都市ブランディングの強化	街の顔となる駅前空間の形成	中心市街地振興室	R2．3．30 から R7．3．31	中心市街地居住者数	人	水準型	目標	9,083	23	27	45	51	60	206
									実績		△ 94	△ 139	△ 47			△ 280
						中心市街地の地価公示（標準値）の平均値	円/㎡	水準型	目標	105,188	200	300	500	500	500	2,000
									実績		475	10,923	△ 3,003			8,395
						中心市街地の主要商店街通行量	人	水準型	目標	63,150	1,850	2,000	3,700	9,500	19,800	36,850
									実績		△ 16,370	4,827	561			△ 10,982
						本事業に基づく遊休不動産の活用物件数	件	累計型	目標	0	1	2	4	4	4	15
									実績		6	7	12			25
						中央大通りの路線価の平均値	円/㎡	水準型	目標	128,000	－	2,000	2,000	3,000	4,000	11,000
									実績		－	1,000	△ 1,000			0

R4年度実施・R5年度評価	
進捗状況	総括
△	新型コロナウイルス感染症の影響等により、KPIの「中心市街地の主要商店街通行量」が目標を達成できなかった。 一方、「遊休不動産の活用物件数」は目標値を大幅に上回り、中心市街地のエリアの価値を表す「中心市街地の地価公示」も累計値で目標値を上回っている。 引き続き、KPIの達成に向けて、中心市街地に都市機能が集積されたコンパクトかつ拠点性の高い都市構造を確立するため、都市機能（商機能等）の誘導を進めるとともに、令和3年度に構築した中央大通りの将来像・土地利用方針の実現に向けた取組（民間投資喚起策等）を強固にする。

◆「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」を活かしたマイクロツーリズム促進、食料品製造業収益性向上事業

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	（1年目）R3年度	（2年目）R4年度	（3年目）R5年度	（4年目）年度	（5年目）年度	KPI増加分の累計
デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	2	交流・関係・定住人口の拡大	観光ホスピタリティの充実	観光振興課	R3．3．30 から R6．3．31	関係自治体の食料品製造業における付加価値生産性（全国以上）	自治体	水準型	目標	2	2	2	2			6
									実績		0	0				
						観光客入込数	万人	水準型	目標	10,324	326	350	350			1,026
									実績		−7,754	−1,246				
						地域の文化に誇りを感じる住民の割合	%	水準型	目標	0.0	10.0	10.0	10.0			30.0
									実績		0	88				
						日本遺産への協力団体数	団体	水準型	目標	73	3	3	4			10
									実績		0	1				

R4年度実施・R5年度評価	
進捗状況	総括
△	新型コロナウイルス感染症の影響等により、観光者数が減少し、思うような成果は出ていない。 引き続き、KPIの達成に向けて、継続的にシュガーロードの魅力を発信し、観光客の増加、住民の認知度向上、関係事業者との連携強化の取り組みを進めていく。